

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	本邦の輸入感染症の疫学解明を目的とした多施設レジストリ研究
所属科	感染症科
研究責任者	阪本 直也
研究期間	倫理委員会承認後～2021年3月31日まで
研究概要	<p>○目的</p> <p>エボラウイルス病やデング熱など熱帯地域・途上国で感染しうる感染症が世界中で脅威となっている現在、これらの輸入感染症が日本でどれくらい診断されているのかを把握することは非常に重要である。また、輸入感染症の約4分の1は診断が付かずに自然軽快すると言われていたものの、実際にどのような感染症であるのかを知ることで対策をすることができ、将来の日本国内での流行を未然に防ぐことに繋がる可能性がある。</p> <p>○対象</p> <p>倫理委員会承認日から2020年3月までに海外帰国から半年以内に当院を受診された、または輸入感染症が疑われて当院に紹介受診された患者</p> <p>○方法</p> <p>倫理委員会承認日から2020年3月までに当院を受診された患者の臨床情報（性別、年齢、渡航地、渡航期間、発症日、最終診断など）を登録する。</p> <p>情報収集および解析は当院倫理審査承認後から2021年3月31日までの間に行う。</p> <p>○利用する項目</p> <p>診療録に記載された基礎疾患や病状、治療内容などの病歴を研究に使用する。また、使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報と厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行う。</p> <p>本研究の対象となる患者のうち、保険診療上の検査では診断がつかなかった患者には、最新の医療機器を用いた検査を行う目的のために別途追加の試料（血液、便、尿、咽頭スワブなど）を採取する場合がある。その際は個別に説明し同意を得た上で実施する。</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	<p>収集した診療情報は、患者氏名、カルテ番号、住所、電話番号等の個人を特定しうる情報はすべて消去し、研究結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報は一切含まない。また研究の目的以外に研究対象者の診療情報は使用しない。試料・情報の管理責任者は研究責任者が兼ねる。</p> <p>研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行う。匿名化対応表は、感染症科で個人情報管理者が保管・管理する。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問い合わせ先までご連絡ください。</p>
臨床研究登録の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無・有（臨床研究登録番号： ）
研究の問い合わせ先	<p>東京都立墨東病院 感染症科 阪本 直也</p> <p>03-3633-6151</p>
結果の公表について	<p>研究結果は学術学会などで発表させて頂くことがあるが、個人が特定されない形で行う。</p>
利益相反について	なし